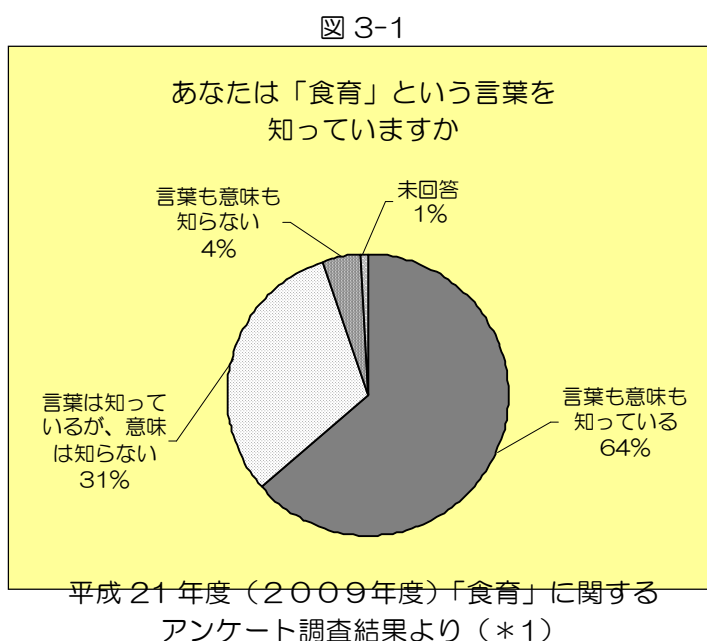


第3章 宝塚市の「食」をとりまく現状

1 「食生活」の状況

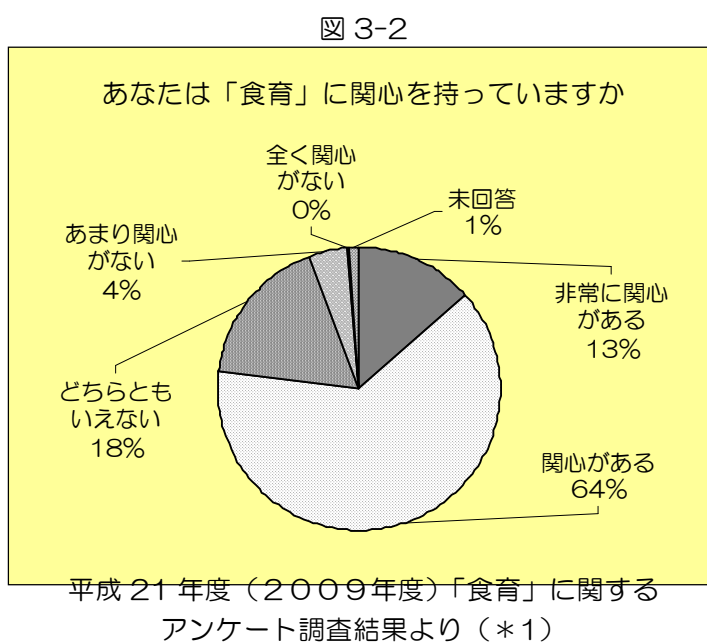
(1) 「食育」に関する意識について

ア 「食育という言葉も意味も知っている」人の割合は64%あり、「食育という言葉は知っているが意味は知らない」を合わせて95%の人が、「食育」という言葉を知っています。



イ 「食育に非常に興味がある」と「関心がある」を合わせて77%の人が「食育」に関心を持っています。

また、「食育にあまり関心がない」と「全く関心がない」を合わせて、4%います。

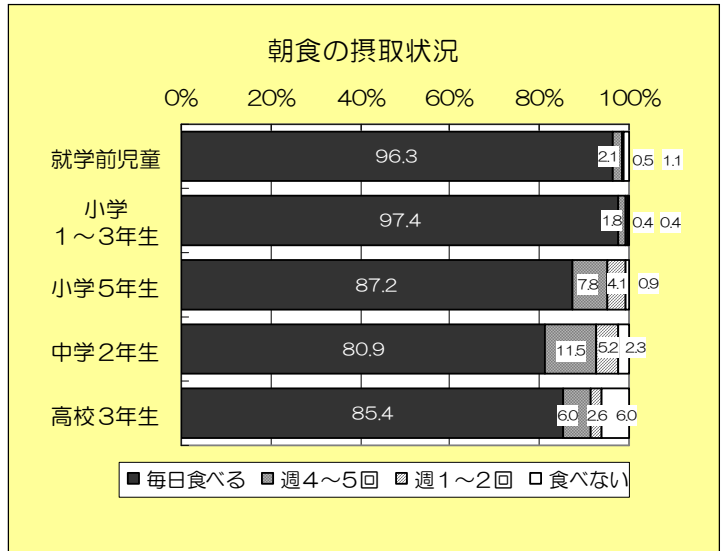


(2) 朝食の摂取状況について

ア 就学前児童から高校3年生

学年が上がるにつれ、朝食を食べない割合の増加が見られます。

図 3-3

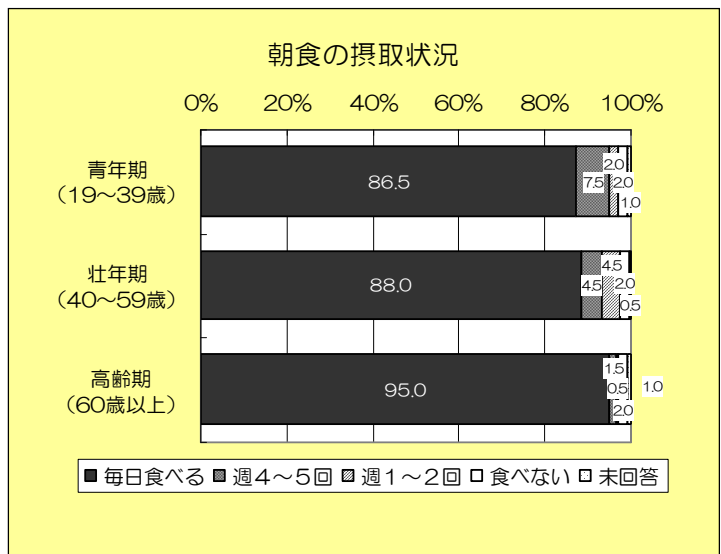


「平成20年度（2008年度）宝塚市次世代育成支援に関する意識調査（後期計画）」より（*3）

イ 青年期から高齢期

年齢とともに、朝食を食べる割合の増加が見られます。

図 3-4

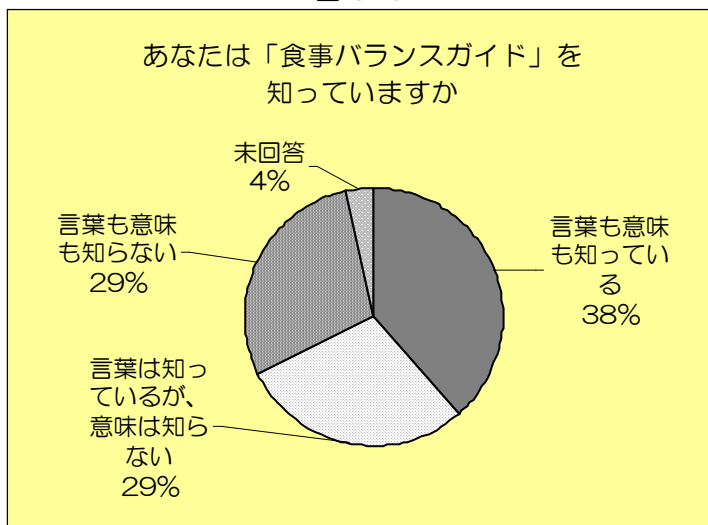


アンケート調査結果より（*1）

(3) 「食事バランスガイド」の認知度について

ア 「食事バランスガイドという言葉も意味も知っている」人の割合は38%あり、「言葉は知っているが意味は知らない」を合わせて67%の人が「食事バランスガイド」という言葉を知っています。

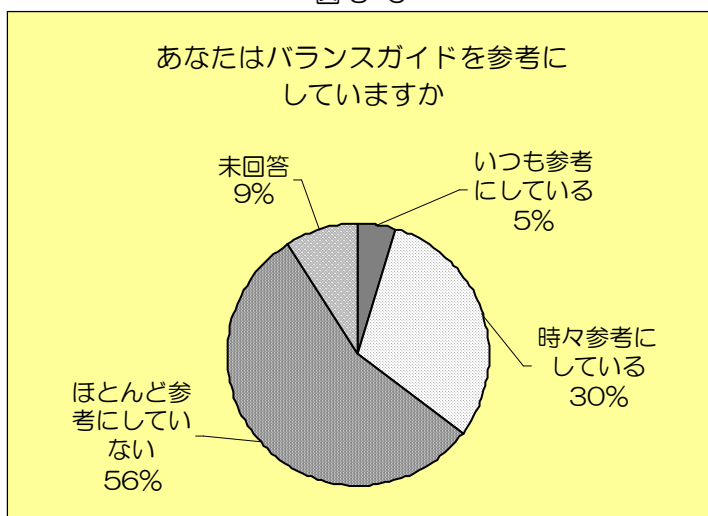
図 3-5



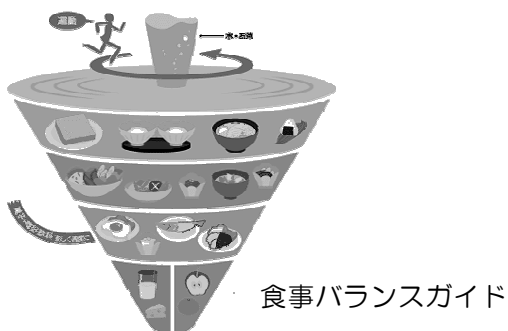
平成 21 年度（2009 年度）（「食育」に関するアンケート調査結果より（*1）

イ 「いつも食事バランスガイドを参考にしている」と「時々参考にしている」を合わせて35%の人が「食事バランスガイド」を参考にしています。
また、「ほとんど参考にしない」人は56%います。

図 3-6



平成 21 年度（2009 年度）（「食育」に関するアンケート調査結果より（*1）



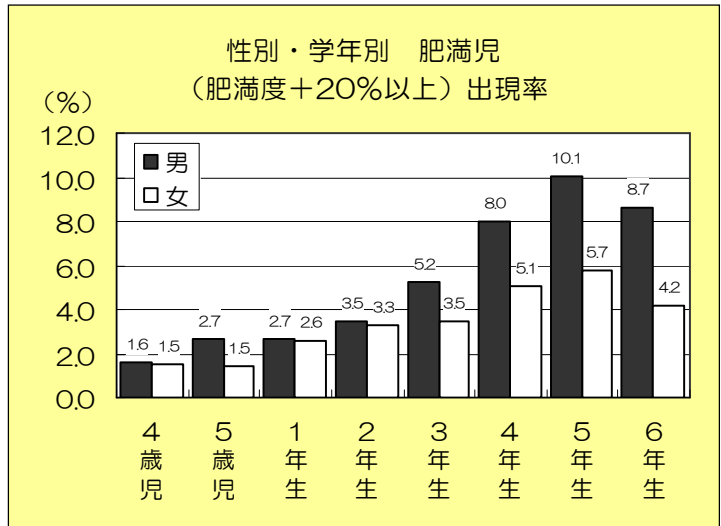
2 「健康」の状況

(1) 子どもの肥満状況

高学年になるにつれ、男子の肥満児の出現率は女子より高くなっています。

小学6年生になると、男女とも肥満児の出現率は減少しています。

図 3-7



「平成20年度(2008年度) 幼児・学童期における身体状況調査結果 (宝塚市分)」より

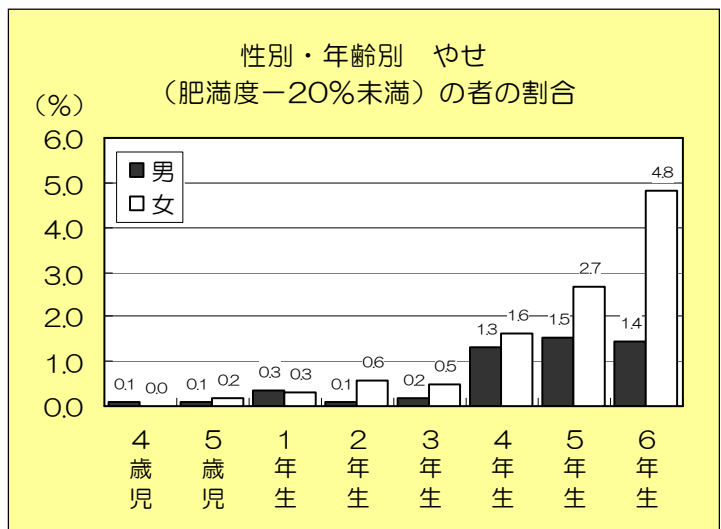
(2) 子どものやせ状況

高学年になるにつれ、女子のやせの割合は増加しています。

特に小学6年生になると、やせの割合が増加し、肥満とやせの割合に逆転が見られます。

(兵庫県6年生女子の「やせ」出現率3.4%)

図 3-8



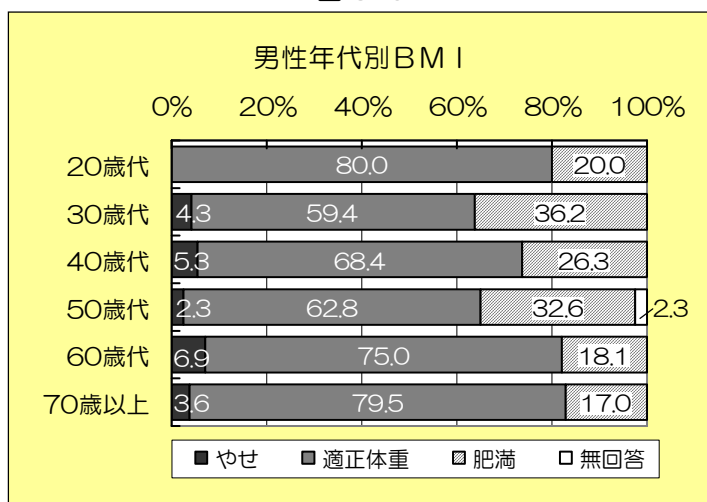
「平成20年度(2008年度) 幼児・学童期における身体状況調査結果 (宝塚市分)」より

(3) 成人におけるBMIによる肥満状況

ア 成人男性

30歳代から50歳代は肥満が高い割合を占めており、60歳代以降になると肥満は減少傾向にあります。

図 3-9

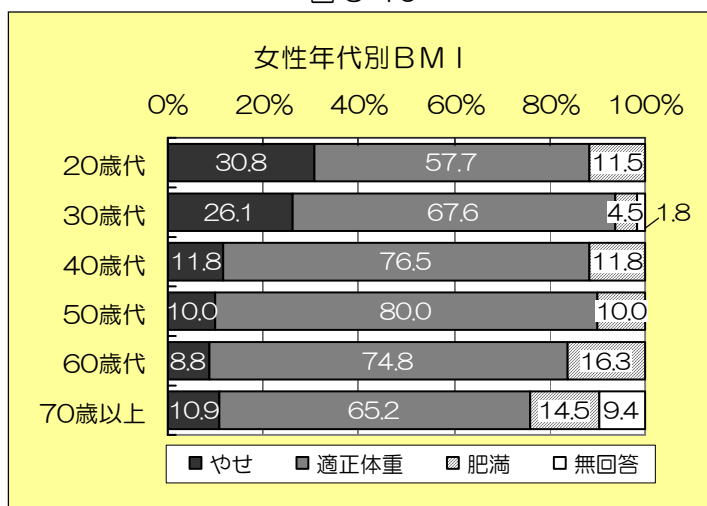


「平成 18 年度（2006年度）健康たからづか 21」（中間評価）より（*4）

イ 成人女性

20歳代、30歳代にやせが多く、年齢が高くなるにつれて肥満傾向になり、70歳代になると、再びやせ傾向が現れています。

図 3-10



「平成 18 年度（2006年度）健康たからづか 21」（中間評価）より（*4）

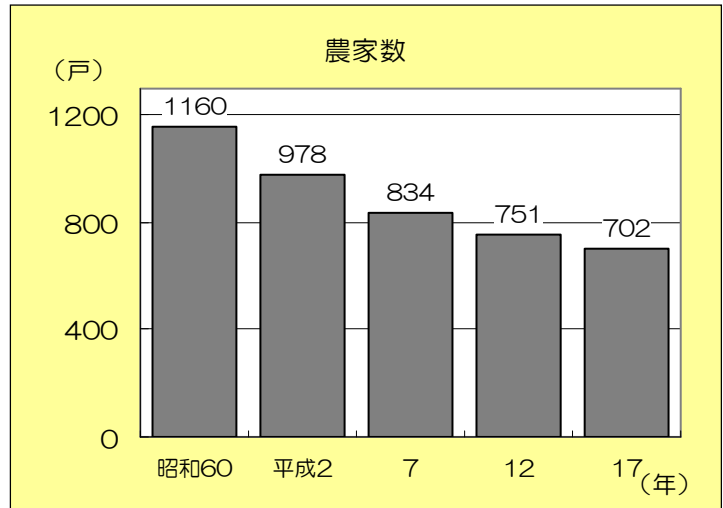
BMI (Body Mass Index) は、体重と身長の関係から算出される、人の肥満度を表す体格指数
 $\text{BMI} = \frac{\text{体重 (kg)}}{\text{身長 (m)}^2}$ で求めます。
 (やせ: BMI < 18.5 肥満: BMI ≥ 25)

3 「農業」の状況

(1) 農家数の状況

昭和60年(1985年)に1,160戸であったものが、平成17年(2005年)には702戸となっており、年々減少傾向にあります。

図 3-11

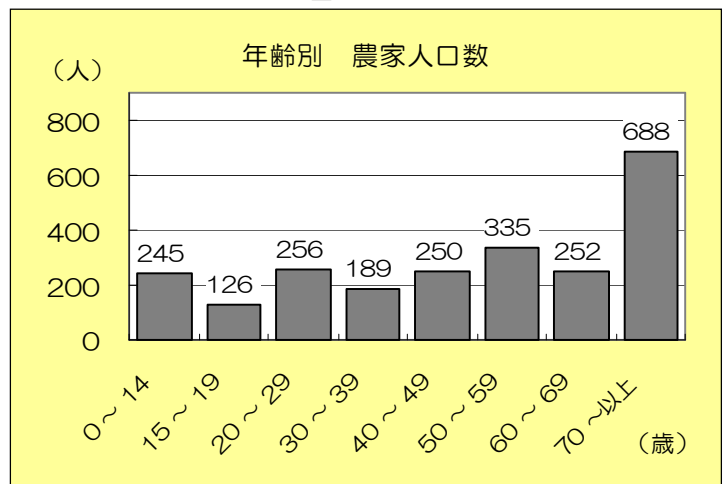


「宝塚市統計書 平成21年度版(2009年度版) 農林業 農業の推移」より

(2) 年齢別農家人口数の状況

年齢別農家人口数(平成17年(2005年)2月1日現在)の状況をみると、70歳以上の年齢層が、他の年齢層に比べ最も多い傾向にあり、農家の高齢化が顕著に現れています。

図 3-12

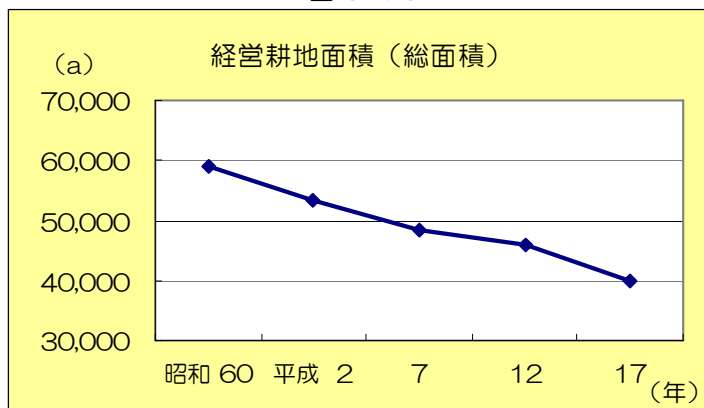


「宝塚市統計書 平成21年度版(2009年度版) 農林業 農業の推移」より

(3) 経営耕地面積（総面積）の状況

経営耕地の総面積の状況は、年々減少傾向にあります。

図 3-13



「宝塚市統計書 平成 21 年度版（2009 年度版）
農林業 農業の推移」より

(4) 水稻の収穫農家数と収穫面積の推移

本市の水稻収穫農家数及び収穫面積は、平成 7 年（1995 年）から平成 12 年（2000 年）の間に、約 4 割減少しています。

	総 数		南部地域		北部地域	
	農家数	面積(a)	農家数	面積(a)	農家数	面積(a)
平成 7 年	469	20,967	135	3,690	334	17,277
平成 12 年	290	12,117	51	1,767	239	10,350

「宝塚市統計書 農林業 農業の推移」より

平成 17 年（2005 年）に、販売目的で作付けした水稻の栽培農家数と栽培面積は、下表のとおりです。

	総 数		南部地域		北部地域	
	農家数	面積(a)	農家数	面積(a)	農家数	面積(a)
平成 17 年	270	12,557	41	2,102	229	10,455

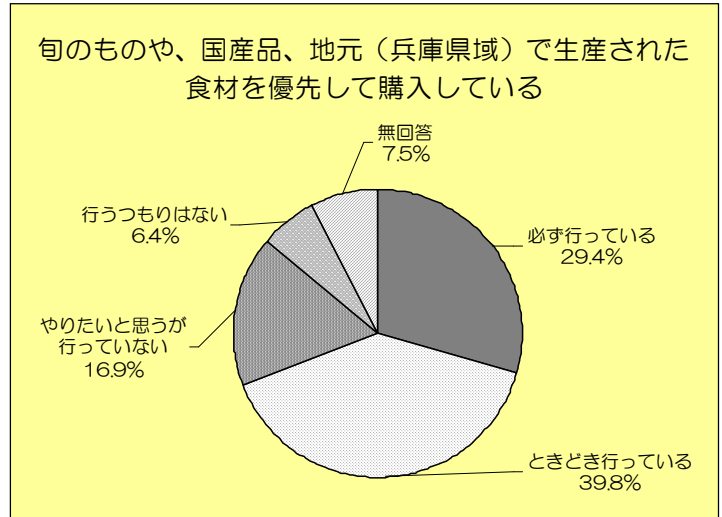
「宝塚市統計書 農林業 農業の推移」より

4 「環境」の状況

(1) 食品購入時における、旬のものや、国産品、地元（兵庫県）生産品への意識

「必ず行っている」と「ときどき行っている」の合計が69.2%であることから、環境の観点からも、「地産地消」や「旬産旬消」については、ある程度浸透していると思われます。

図 3-14

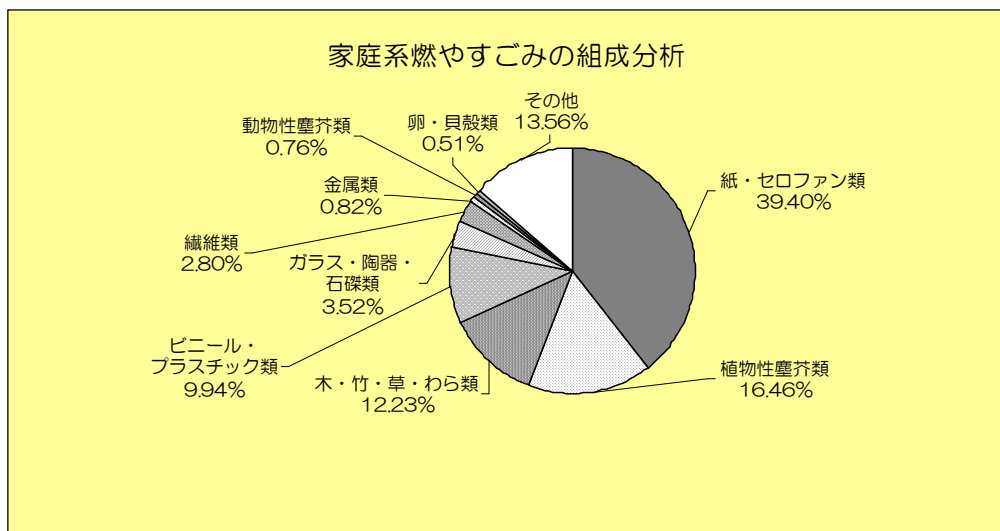


平成17年（2005年）9月
環境管理課（現：環境政策課）実施
省エネルギーに関する市民アンケート（*5）

(2) 家庭から排出している燃やすごみの組成分析について

このグラフでの、動物性塵芥類、植物性塵芥類、卵・貝殻類の合計 17.73% が、調理した際にでる魚や野菜のくず、又は食べ残しなどのごみを指しており、紙・セロファン類に次いで大きな割合を占めています。

図 3-15



＜宝塚市の食を取り巻く課題＞

- ・食習慣の乱れ
- ・肥満の心配
- ・「食」の安全安心への不安
- ・「食」に関する情報の氾濫
- ・食品廃棄
- ・伝統的な料理を作ることや食べる機会の減少
- ・核家族化・単独世帯の増加
- ・農業の担い手不足

たからづか
食育推進計画

近年、「食」を取り巻く社会環境は大きく変化し、「食」の将来への不安が高まり、様々な現状から、「たからづか食育推進計画」を策定します。



豆知識

『知っておきたい豆知識 ②』

「米1粒」を大切に！

1粒の米（種もみ）から育つ稲穂には、おおよそ1000～2400粒の米が実ります。

お茶碗1杯あたりのご飯粒はおおよそ2400粒あります。
 ・ ・ ・ということは、1粒の米で茶碗1杯分のご飯になるということです。

また、米1粒あたりの重さは0.02g。
 もし日本人全員が1粒のご飯を残したとすると・・・
 $0.02g \times 1億3000万人 = 2600kg$ (2.6トン)
 2.6トン分のご飯をムダにすることになります。



「米1粒」だって、大切にしなければいけませんね！